

2025～2026年度

第1回キャビネット会議 議事録

2025. 8. 3(日) 於：TKPガーデンシティ千葉
(THE QUBE HOTEL CHIBA内)

第107回国際大会報告書

(アメリカ・フロリダ州・オーランド 2025年7月13日～7月17日)



We Serve



未来への布石『The challenged』
可能性を秘めた仲間たち、
未来への布石を打とう。

ライオンズクラブ国際協会

333-C地区

第1回キャビネット会議 議事録

期 日：2025年8月3日(日) 13:50～17:10

会 場：TKPガーデンシティ千葉 (THE QUBE HOTEL CHIBA内)

出席者：キャビネット構成員等155名中123名出席、内投票権のあるキャビネット構成員47名中43名の出席

《地区ガバナー提出議案と審議結果》

第1号議案 キャビネット構成員等任命の件

全会一致により承認可決

第2号議案 キャビネット会議・付属会議とその議事規則の確認の件

全会一致により承認可決

第3号議案 前年度会計決算報告の件

決算報告書

I. 一般会計

II. 年次大会会計

III. 青少年育成資金会計

IV. 地区緊急災害支援センター会計

V. 千葉県ライオンズクラブ子ども食堂支援基金会計

貸借対照表

財産目録

財産目録別表

全会一致により承認可決

第4号議案 会計監査報告の件

全会一致により承認可決

第5号議案 地区ガバナー提出議案審議の件

議案その1 地区会計監査委員委嘱の件 (333複合地区会則第25条第4項の規程に基づく)

委嘱予定者 L伊東 英樹 (東葛飾LC)

L木村 大吾 (野田LC)

全会一致により承認可決

議案その２ キャビネット会計の業務執行に伴う担保提出の件
担保提出は免除する。

全会一致により承認可決

議案その３ 本年度の旅費規程・慶弔規程（案）の件
別紙の通り定める。

全会一致により承認可決

議案その４ 333－Ｃ地区年次大会アワード規程（案）改正の件
別紙の通り定める。

全会一致により承認可決

議案その５ ＬＣＩＦへの協力依頼の件
累積ＭＪＦ寄付の理解と協力を各クラブにお願いする。

全会一致により承認可決

議案その６ 地区及びクラブシェアリング交付金申請書の件
障がいのある人のアート活動支援の為ＬＣＩＦシェアリング交付金を、別紙の通り申請する。

全会一致により承認可決

第６号議案 本年度地区予算書（案）審議の件

Ⅰ．一般会計

Ⅱ．青少年育成資金会計

全会一致により承認可決

第７号議案 地区委員長提出議案の件

公益財団法人千葉県アイバンク協会及び公益社団法人日本網膜色素変症協会（JRPS）
に対して行う支援については、継続事業として以下の通りとしたい。

議案７－１ 公益財団法人千葉県アイバンク協会に対し行う献眼登録等の支援については、各クラブの自主的な判断によりクラブ又は個人のアクティビティとして行う。

全会一致により承認可決

議案 7-2 公益社団法人日本網膜色素変性症協会（JRPS）に対しての各種支援は、各クラブの自主的な判断により、クラブ又は個人のアクティビティとして行う。
尚、この資金は、治療法研究開発促進のための研究論文募集資金に充当され、入賞論文 3 本計400万円の内、1 本100万円はライオンズ賞として研究者に授与されます。

全会一致により承認可決

議事録署名人 1 R-2 Z ゾーン・チェアパーソン・ゾーンLCIF委員

L 井上克廣

議事録作成人 1 R-2 Z ゾーン・チェアパーソン・ゾーンLCIF委員

L 増田満世

【会議資料の訂正】

- P43 1 行目 【誤】 公益社団法人千葉県アイバンク協会
【正】 公益財団法人千葉県アイバンク協会
7 行目 【誤】 公益財団法人日本網膜色素変性症協会
【正】 公益社団法人日本網膜色素変性症協会

第107回国際大会報告書

(アメリカ・フロリダ州・オーランド 2025年7月13日～7月17日)

第 107 回国際大会報告書

(米国フロリダ州・オーランド 2025 年 7 月 13 日ー7 月 17 日)

I. 国際役員の選出

7 月 15-16 日にオレンジ・カウンティ・コンベンションセンターで行われた投票で、本年度国際役員が別紙1の通り選出されました。

国際会長には、インドのA.P.Singh元国際第一副会長、国際第一副会長には、米国コネチカット州のMark S. Lyon元国際第二副会長、国際第二副会長には、ケニアのManoj Shah元国際第三副会長、国際第三副会長には、オーストラリアのTony Benbow元国際理事が選ばれました。東洋東南アジア地域からの国際理事として、日本から田名部智之元協議会議長(332-A地区・八戸LC)及び仁科良三元協議会議長(334-E地区・長野みすずLC)、台湾からKuo-Yung Hsu元地区ガバナー(300-A2 地区・Taipei Chin-Cheng ライオンズクラブ所属)を、韓国からSoon-Tak Choi元協議会議長(355-E 地区・Geochang Dongbuライオンズクラブ所属)が選出されました。

II. 2025-2026 年度国際理事会委員会

日本からの国際役員の所属委員会は次の通りです。

田名部 智之 国際理事	会員増強委員会(委員)
仁科 良三 国際理事	大会委員会(委員)

III. LCIF国際役員

鶴嶋 浩二 元国際理事	LCIF理事(第5会則地域 3年任期の2年目) プログラム委員会(委員)
-------------	---

IV. 国際会則の改正

7 月 15-16 日にオレンジ・カウンティ・コンベンションセンターで行われた投票により、上程された国際会則及び付則改正案は第 2 項を除きすべて可決されました。

(別紙 2 参照)

V. 新国際会長の就任

閉会式で A.P.Singh 新国際会長の就任セレモニーが行われました。

新国際会長の略歴は別紙 3 の通りです。

カラー顔写真は国際協会 HP(日本語版)からダウンロードしてください。

国際会長【写真】ダウンロード先：

https://www.lionsclubs.org/sites/default/files/division/marketing/headshots/Singh_AP_2025.jpg

引き続き国際テーマは『ウィ・サーブ』、A.P.Singh 新国際会長は個人のテーマ表現を『Lead to Serve, Serve to Lead. 』(リーダーシップこそ奉仕、奉仕こそリーダーシップ。)としてい

ます。詳しくは次の国際協会ウェブサイト(日本語版) URLからダウンロードしてください。

LCI公式ウェブサイト国際会長テーマ掲載ページ:
会長テーマ | ライオンズクラブ国際協会

ビデオ掲載先:

We Step Up | 2025-26 International President A.P. Singh

VI. 国際コンテスト

インターナショナル・パレードにおける日本からの入賞は次の通りです。

・<国際パレード>

第二部門コンテスト(代表団の境界線外から雇われたグループ)

バンド(Other) 3位: 日本

VII. 表彰

(1). ライオンズ人道主義大賞(Humanitarian Award)

ブラジルで恵まれない人々に無料で医療を提供している非営利団体の、オブラス・ソシアイス・イルマン・ドウセ(OSID)が受賞しました。「ブラジルの守護天使」として知られるシスター・ドウセが創設したオブラス・ソシアイス・イルマン・ドウセは、何十年にわたり必要不可欠な医療、社会的支援、教育 サービスを提供してきました。OSID は、ブラジルで最大の医療複合施設で無料のケアを提供しており、毎年 300 万人以上が受益しています。シスター・ドウセならびにオブラス・ソシアイス・イルマン・ドウセについては以下をご参照下さい。

国際協会公式ウェブサイト掲載ページ(別紙4)

md_M0Q7h7mlbYN51Ilr.jpg.pdf

(2). 国際平和ポスター・コンテスト

2024-25 年度国際平和ポスター・コンテスト大賞は、Shuwen Wang さん(中国、スポンサー:大連徳龍ライオンズクラブ)、日本からの優秀賞受賞は吉田 昊未さん(スポンサー:富山昭和ライオンズクラブ)ならびに山本 視栄さん(スポンサー:岡山ハーモニーライオンズクラブ)です。

入賞作一覧は以下より御覧いただけます。

<https://www.lionsclubs.org/ja/start-our-approach/youth/peace-poster/current-winners>



吉田さんの作品



山本さんの作品

(3). 国際作文コンテスト

視覚障がいのある青少年を対象とした 2024-25 年度国際作文コンテスト大賞は、Robert Hunt さん (New Zealand、スポンサー: Lower Hutt Host Lions Club) が受賞しました。

全文は以下 URL よりご覧いただけます。

https://cdn2.webdamdb.com/md_wSosDFm2hMi32ULf.jpg.pdf?v=1

VIII. 初日総会(7月15日)

オリベ이라国際会長から年次報告、国際平和ポスター・作文コンテスト大賞受賞者の表彰、2025-2026 年度国際第3副会長候補者 Tony Benbow 元国際理事の選挙演説及びインスタレーション、フラッグ・セレモニーなどが行われました。

IX. 二日目総会(7月16日)

パティ・ヒル LCIF 理事長の年次報告と表彰などが行われました。

基調講演ではエミー賞を受賞した ABC ニュース・キャスター兼特派員のダイアン・マセド氏がインタビュアーとなり、伝説的なオリンピック選手であり、メンタルヘルス活動家であるマイケル・フェルプス氏との対談が行われました。フェルプス氏は対話の中で自身のメンタルヘルスに関する問題を開示し、乗り越えた方法やマイケル・フェルプス財団について話されました。

ダイアン・マセド氏ならびにマイケル・フェルプス氏については以下をご参照ください。

X. 最終日総会(7月 17 日)

オリベira国際会長の開会宣言の後、ミッション 1.5 関連のアワード受賞者が会場のスクリーンにて発表され、日本からもクラブ単位や個人での受賞がありました。

新会長紹介ビデオが上映されたのち国際会長交代セレモニーが行われ、A.P. Singh 新国際会長が誕生しました。演説の中で A.P. Singh 新国際会長はミッション 1.5 の重要性と今後世界中すべてのクラブで 1 人の新会員の獲得の呼びかけ等を行いました。

新会長の演説の後、投票で選ばれた新執行役員と国際理事が発表され、仁科国際理事と田名部国際理事は新国際理事として登壇しました。

最後に来年の第 108 回香港国際大会のプロモーションとエレクトセレモニーが行われ、第 107 回オーランド大会は幕を閉じました。

XI. 参加代議員及び補欠数(7 月 17 日閉会式発表)

7 月 17 日閉会式時点の発表では、全世界からの投票代議員数は 2,881 名でした。

日本からの代議員数等は、秋季国際理事会にて公式に発表される予定です。

XII. オーランド国際大会の大会登録者数

全世界からの登録数、日本からの登録数について、公式な登録数は例年秋季国際理事会にて発表される予定です。

また、日本からのパレード参加者数は 900 名前後とのことです。

XIII. 各種セミナー

今大会では以下の日本語通訳のあるセミナーが行われました。

(1) 地区の管理 (7 月 14 日)

OSEAL 調整事務局 マーズ事務局長の司会のもと、濱野国際理事、城阪国際理事、鶴嶋 LCIF 理事をお迎えし、DGE およびそのチームのためのセミナーが開催されました。

(2) ビジネスセッション (7 月 14 日)

オリベira国際会長の挨拶の後、代議員投票について日時や場所、ルールの説明がありました。指名委員会より各国際理事候補者の紹介があり、各理事候補者及び推薦者1名が登壇、スピーチを行いました。日本からは仁科 IDC と田名部 IDC ならびに両候補者の推薦者として山田實紘元国際会長が登壇されスピーチを行いました。

(3) LCIF ボランティア構造セミナーおよび戦略会議 (7 月 16 日)

プレゼンターとして山田實紘元国際会長をお迎えし、LCIF の役職を務めるリーダーを対象に、最新情報の報告や戦略の検討、クラブや地区とLCIFの取り組みを繋げるための実践的な知識の共有が行われました。

(4) ミッション 1.5: ライオンズのいない世界: 奉仕するための拡大 (7 月 16 日)

全執行役員がプレゼンターとして登壇し、ライオンズがいない世界はどうなってしまうのか、ミッション 1.5 の重要性と会員拡大が単なる数字ではなく、実際にどのような

変化を及ぼすのかを話されました。最後には抽選会が開催され、当選者には iPad が贈呈されました。

その他に開催されたセミナーおよびイベントは以下の通りです。(一部抜粋)

- (5) **スペシャルオリンピックスのユニファイドスポーツ・イベント(7月 13 日)**
表彰の他、スペシャルオリンピックスのアスリートと非アスリートのチームでボッチェボールとズンバの競技を行いました。
- (6) **Ellie のご紹介:ライオンズクラブ向け AI アシスタント (7月 15 日)**
素早い回答とアイディア、情報資料でライオンズとレオをサポートする新しいチャットボット、「Ellie」の機能やアクセス方法、効果的な使い方の解説が行われました。会場は超満員となり、大盛況となりました。
- (7) **平和ポスター交流会(7月 15 日)**
今年の平和ポスター・作文コンテスト大賞受賞者によるサイン会が行われました。
- (8) **LCIF 理事長表彰(7月 16 日)**
大会期間中に US \$ 1,000 以上を寄付した参加者が、LCIF ブースステージで、パティ・ヒル理事長から表彰されました。日本メンバーの表彰もありました。

XIV. 今後の国際大会の日程と開催地

〈第 108 回〉	2026 年 7 月 3～7 日	香港
〈第 109 回〉	2027 年 7 月 2～6 日	米国 ワシントン D.C.
〈第 110 回〉	2028 年 6 月 23～27 日	シンガポール
〈第 111 回〉	2029 年 6 月 29～7 月 3 日	米国ミネソタ州 ミネアポリス
〈第 112 回〉	2030 年 6 月 28～7 月 2 日	米国テキサス州 サンアントニオ
〈第 113 回〉	2031 年 7 月 4～8 日	フィンランド ヘルシンキ

2025 年 7 月 24 日
一般社団法人 日本ライオンズ

2 0 2 5 国 際 大 会 選 出 役 員

国際会長	エー ピー シン A. P. Singh (インド)
国際第一副会長	マー ク ライオン Mark S. Lyon (米国・コネチカット)
国際第二副会長	マノー ジ シャー Manoj Shah (ケニア)
国際第三副会長	トニー ベンボウ Tony Benbow (オーストラリア)
国 際 理 事	
アメリカ合衆国およびその領域、 バーミューダおよびバハマ (6 名改選)	Nadine Bushell (トリニダード) Liz Crooke (米国・カリフォルニア) David W. Wentworth (米国・ネブラスカ) Mark Mansell (米国・ワシントン) Gary Steele (米国・ノースカロライナ) Melissa Washburn (米国・ニューメキシコ)
カナダ(1 名改選)	Debbie Dawson(カナダ)
南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ およびカリブ海諸島(1 名改選)	Celina Guimaraes (ブラジル)
ヨーロッパ(3 名改選)	Niels Schneckner (ルーマニア) Hroar Thorsen (ノルウェー) Drazen Melcic (クロアチア)
インド、南アジア、アフリカおよび中東 (1 名改選)	Nazmul Haque (インド)
東洋東南アジア(4 名改選)	Ryozo Nishina (日本) Tomoyuki Tanabu (日本) Soon-Tak Choi (韓国) Kuo-Yung Hsu (台湾)

以上



公式通達
2025 年国際大会、米国フロリダ州オーランド

以下の国際会則及び付則改正案が
2025 年国際大会において提出され、代議員による票決の対象となります。

可決
第 1 項：現地税金および納入金が適用されるクラブに対して、当該税金および納入金を
国際協会が請求に含めることを認める決議案。
(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第 12 条「入会金及び会費」を改正し、新たな第 3 項を以下の通り挿入する。

第 3 項。現地納入金及び税金。上記第 2 項に従って課される会費に加えて、国際協会は、あらゆる政府組織または税務当局によって国際会費に課される現地税金や納入金に対応するため、追加の金額を徴収することができる。

さらに、第 3 項「延滞金利」の項番を第 4 項に繰り下げる。

否決
第 2 項：アメリカ合衆国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島の国際理事の定数を偶数年においては 1 名、奇数年においては 2 名減らし、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島の国際理事の定数を偶数年において 1 名増やし、さらに、インド、南アジア、中東の国際理事の定数を奇数年において 2 名増やすことにより、国際理事の定数を再配分する決議案。

(会則に対するこの改正案の可決には 3 分の 2 の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

2026 年 7 月 1 日を施行日として、第 5 条第 3 項の既存の文言を全文削除し、以下の文言と差し替えて改正する。

第 3 項。国際理事会の会則地域別構成及び選挙。国際理事会は、会長、前会長、第一、第二、及び第三副会長、並びに、下記の通りに選出される理事で構成される。



各偶数年に 18 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 4 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 2 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 3 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 4 人、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島のクラブから 1 人、アフリカのクラブから 1 人を選出するものとする。

各奇数年に 17 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 4 人、カナダのクラブから 1 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 4 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 4 人を選出するものとする。

第 3 項：地区ガバナー、第一副地区ガバナー、または第二副地区ガバナーが同じクラブのメンバーであることを禁ずる決議案。

可決

(付則に対するこの改正案の可決には過半数の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

国際付則第 8 条第 7 項「地区キャビネット」の既存の文言を全文削除し、以下の文言と差し替えて改正する。

第 7 項。地区キャビネット。各単一地区及び準地区は、議長としての地区ガバナー、第一及び第二副地区ガバナー（いずれも同一クラブに属さないこと）、前地区ガバナー、並びにそれぞれ単一、暫定、又は複合地区会則の規定で定められる手順で選出又は任命されるリジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、キャビネット幹事及びキャビネット会計又は幹事兼会計、その他地区（単一、準、複合）会則及び付則で規定されるクラブ会員で構成される地区ガバナー・キャビネットを設ける。ただし各地区のガバナーは、自分の任期中にリジョン・チェアパーソンの役職を活用するかどうか定める権限を持つ。活用されなかった場合には、リジョン・チェアパーソン職はその地区ガバナーの任期中、空席となる。それぞれの地区（単一、準、複合）は、その会則及び付則の中に、選出される第一及び第二副地区ガバナーの規定を加えなければならない、各職責は国際理事会によって定められる。所属クラブが存在するリジョン又はゾーンのクラブ会員だけが、そのリジョン・チェアパーソン又はゾーン・チェアパーソンとして選出又は任命されるものとする。

A. P. シン
国際会長

A. P. シン（インド・コルカタ）は、2025年7月13日から7月17日にかけて米フロリダ州オーランドで開催されたライオンズクラブ国際協会の第107回国際大会で、同協会の国際会長に選出された。

シン国際会長は、現役の公認会計士。家族経営の自動車販売業にも携わっている。

1984年にカルカット・ヴィカス・ライオンズクラブに入会して以来、地区ガバナーや協議会議長など、協会の数多くの役職を歴任してきた。GMT国際コーディネーターを4年間務めただけでなく、多くの理事会特別委員会のメンバーも務めている。アメリカのシカゴにおける2017年DGEセミナーでは委員長、そしてALLI、RLLI、FDI、LCIP認定などのプログラムでは50回以上講師を務めた経験もある。また、視力ファースト・キャンペーンIIのマルチナショナル・コーディネーター、LCIFステアリング委員会のメンバー、インド視力ファースト委員会の委員長としての役目も果たしてきた。

シン国際会長はすべての会則地域で、エリア・フォーラムに参加しセミナーを開催した経験がある。インドのコルカタで行われたISAAMEフォーラムでは実行委員会の共同委員長を務めた。

国際協会への貢献が認められ、シン国際会長はこれまでに複数の国際会長賞、さらには国際協会から会員に与えられる最高の栄誉である親善大使賞など、多くのアワードを受賞している。視力ファースト・キャンペーンIIおよびキャンペーン100では大口の寄付を行っており、累進メルビン・ジョーンズ・フェローである。

ライオンズクラブでの活動に加え、他の信託、財団、企業との協力により、さまざまな奉仕プログラムを立ち上げ、評価されている。ウェブベースのライオンズ指導力開発プラットフォームやマイクロファイナンス・プログラムの設立に取り組んできたほか、ライオンズを活動に引き込み続けるため複数の大規模なオンラインイベントも企画・開催している。

シン国際会長には3人の子供がいる。

R-2/25